

令和4年度 久手小 学校だより 12月号

かけと



令和4年12月15日(木)

久手小ホームページ



こちらからどうぞ

実り多き2学期でした



1学期末に臨時休校を行ったため、予定より早く8月25日(木)にスタートしたこの2学期。早いものであと1週間で冬休みに入ります。2学期のスタートにあたり、私はZOOMによる始業式で子どもたちに「スポーツの秋・芸術の秋、一つ一つの行事にしっかりとめあてを持って臨み、大きな実りのある2学期にしましょう。」と話をしました。

今月回覧になっている『久手小だより 冬号(PTA広報部)』で紹介いただけていますが、運動会・学習発表会では直前でのコロナの感染拡大による学級閉鎖や練習時間の短さを乗り越え、子どもたちは学習の成果はもちろん協力する力・集中して取り組む力・表現する力など精一杯発揮しました。そのほかにも、日々の教室での学習、上に一部紹介していますが感性豊かな作品が仕上がった図画工作への取組、地域の魅力に浸ったふるさと教育への取組、楽しい学校生活実現におけた児童会活動の取組、オーケストラや様々な講師さんの話を聞いた経験など大きな実り・確かな実りのある2学期だったように思います。

この2学期間、保護者の皆様・地域の皆様には温かく子どもたちを見守っていただくとともに、たくさんのご支援をいただきました。誠にありがとうございました。それでは皆様、よいお年をお迎えください。

来年、2023年6月には久手小学校は150周年を迎えます。今後も久手小学校をどうぞよろしくお願いいたします。

PTA研修部主催「ようこそ先輩」講演会が開かれました

11月29日(火)、ふるさと久手につながりのある様々な分野で活躍しておられる方を講師としてお招きするPTA研修部主催「ようこそ先輩」講演会が行われました。

今年度は地元にある企業、出雲村田製作所本社およびイワミ工場職員の方をお招きしてお話を伺いました。積層セラミックコンデンサの世界シェア40%をほこる村田製作所の紹介、SDGsへの取組、ムラタセイサク君のデモンストレーション、そして久手小学校を卒業して出雲村田製作所で働いている山尾さんのお話。たくさんの学びがあった講演会となりました。



島根県特別支援教育研究大会(大田大会)

11月17日(木)、久手小学校を全体会場として、第28回島根県特別支援教育研究大会(大田大会)が開催されました。本校での特別支援教育の取組を研究主任が説明した後、ひまわり2組と6年2組の算数の授業を県内の多くの先生方に見ていただきました。子どもたちが楽しく学び、豊かにかかわる姿、たくさんの先生方に褒めていただきました。

本研究大会でえられた成果や課題を日々子どもたちへの支援、また、今後の特別支援教育の取組に活かしていきたいと思えます。



人権について考えよう「人権集会」

12月4日から12月10日は人権週間でした。久手小学校では人権週間にあわせ12月2日(金)に人権集会を行いました。集会は担当から人権についての話、代表による人権作文・ポスター・標語の発表。絵本の読み聞かせと内容に関する意見交換です。

人権教育を進めるにあたっては、単に知的な理解が進めばよいというものではなく、人権に満ちあふれた雰囲気や環境の中で生活することで子どもたちは豊かな人権感覚を身につけていくといわれています。今後も、学校教育全体を通じて自分と他の人の大切さが認められるような取組を進めていきます。



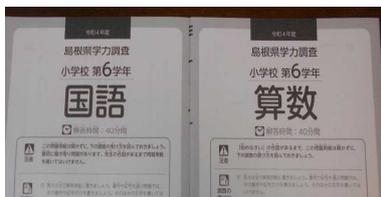
島根県学力調査

12月6日(火)、5・6年生を対象に島根県学力調査が行われました。

近年、学校では『授業改善』ということばをよく使います。教師が一方的に教え込む授業、子どもたちが受け身になってしまう授業から、子ども主体の学習、自ら考え表現していく学習への転換が求められているのです。

この調査は、学力の現状を把握するとともに、授業改善に向けて活用していくために行われています。普段のテストとは違い、問題量も多く、じっくり考えなくてはならない問題が多く出題されていました。

結果は2月頃にまとまる予定です。



遊具の撤去はじまる

7月号において遊具の修繕がはじまるお知らせをしました。先日作業が行われ、ジャングルジム・平行棒・うんてい・ろくぼくが撤去されました。使用禁止となっていた遊具はすべて撤去されます。今までそこにあったものがなくなると、なんだかさみしいものです。

1月には、現在ある鉄棒が撤去され、少し小さくなりますが新しい鉄棒が取り付けられる予定です。

遊具の更新・修繕作業については随時お知らせをしていきます。

